

## 事例 36 民間ボランティアと協力した海岸防災林の復旧・再生

(東北森林管理局)



- ・宮城県 仙台市（せんだいし）若林（わかばやし）区  
北山（きたやま）国有林
- ・左がボランティアによる植栽の様子  
右が植栽された苗木の様子

東北森林管理局では、東日本大震災で津波により被災した海岸防災林を復旧・再生するため、民間ボランティアの協力を得て、クロマツや広葉樹の苗木の植栽を行っています。平成 24 年度から平成 30 年度までの間に、企業や NPO 等延べ 70 団体と約 26ha の「社会貢献の森」の協定を締結し、植栽や下刈等の保育活動を実施してきました。

令和元年度は、11 団体がそれぞれの協定区画において、クロマツ 6,080 本、広葉樹 820 本の植栽と下刈等の保育作業を実施しました。令和 2 年度には、残り 0.45ha の区画で植栽が行われる予定となっており、これをもって全ての区画の植栽が完了する見込みとなっています。

今後は、協定期間において必要な下刈等の保育作業を実施することにより、健全な海岸防災林の復旧・再生を図ることとしています。